迷惑電話おことわりサービス

使用説明書

7 本サービスをおやめになる場合

●本サービスの利用をおやめになりたい場合には、当社所定の書面に必要事項を記入の上、お近くの弊社窓口へお申し込み下さい。

※尚、下記のような電話に関する異動の場合には自動的に契約が廃止となります。(当社所定の書面による提出は不要です)。
- ・請求による電話番号の変更
- ・電話番号が変更となる電話の移転
- ・加入電話の譲渡・利用休止

※複数のご名義で代表機能をご利用のお客さまが本サービスをおやめになる場合、その名義の方全員の同意書が必要となります。

●本サービスのお問い合わせ●

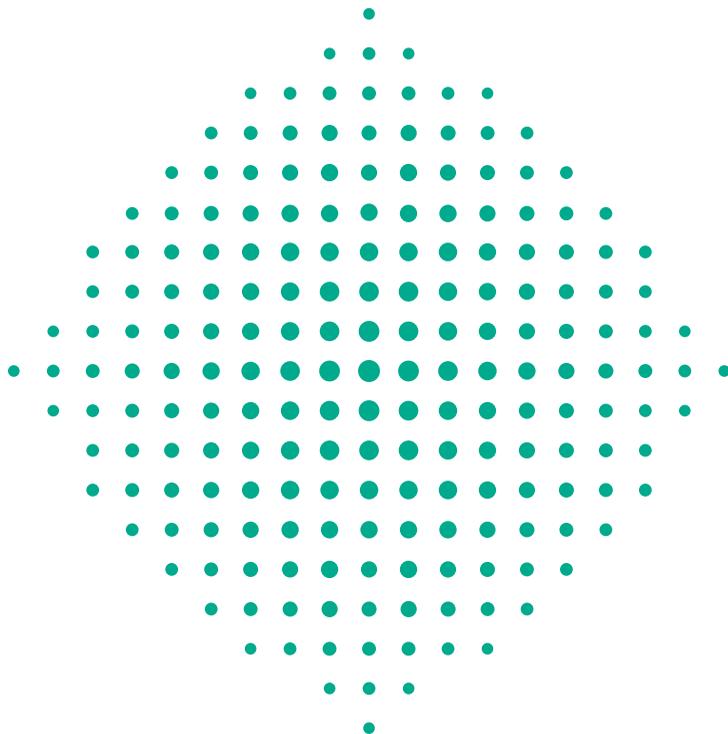
局番なしの116へ

営業時間
午前9時～午後5時　土・日・祝も受付中
年末年始(12月29日～1月3日)は除く

携帯電話・PHSからは

0800-2000116

※NTT西日本エリア以外からはご利用になれません。　※電話番号をお確かめのうえ、お間違えのないようお願いいたします。

(2012.1)

「迷惑電話おことわりサービス」

迷惑電話！と思った時は、
電話を切って144です。

「迷惑電話おことわりサービス」とは

迷惑電話に応答した直後に、
一旦電話を切り、受話器をあげて
「144」に続けて「2」をダイヤルすると
かけてきた相手の電話番号が弊社に登録されます。
登録された電話番号からは
電話がかかってこなくなるとともに、
かけてきた相手には自動的にメッセージで応答するものです。

「迷惑電話おことわりサービス」の特徴

①登録した電話番号からかかってきた場合には、メッセージで応答しますので、電話のベルも鳴りません。
②登録した電話番号以外からかかってきた場合には、通常の応答が可能です。
③操作が簡単です。
④電話番号の変更が不要です。
⑤今お使いの電話機の取り替えは不要です。

1 登録方法

（迷惑電話を受けた直後にダイヤル操作をしてください）

① 144
↓
②ガイダンス
↓
③ 2
↓
④ガイダンス
↓
⑤（登録完了）

迷惑電話を受けたあと、一旦電話を切ります。
続いて次の操作をしてください。
①受話器をあげて、144をダイヤルしてください。
②「現在、登録されている電話番号は○個です。拒否登録する時は数字の2、登録されている電話番号をすべて解除する時は数字の9、最も新しい登録だけを解除する時は数字の3、効果の確認をする時は数字の4をダイヤルしてください。」というガイダンスが流れます。
③ガイダンスに従って2をダイヤルしてください。
④「登録を完了しました。」というガイダンスが流れたら受話器をおかけください。
⑤これで登録操作は完了です。

※登録しておくことができる電話番号の数は最大6個または30個までです。限度数を超えてさらに登録を行う場合は、登録した電話番号の中で最も古いものを取り消し、新しい電話番号を登録します。
※当社以外の電話会社の回線を経由した通話については、登録ができない場合もありますので、登録にあたっては、必ずガイダンスにより登録ができたかどうかを確認してください。なお、登録できない時は、「相手の電話番号を確認できないので、登録できません。」というガイダンスが流れます。

2 一括解除方法

登録されている全ての電話番号を解除します。）

① 144
↓
②ガイダンス
↓
③ 9
↓
④ガイダンス
↓
⑤（解除完了）

①受話器をあげて、144をダイヤルしてください。
②「現在、登録されている電話番号は○個です。拒否登録する時は数字の2、登録されている電話番号をすべて解除する時は数字の9、最も新しい登録だけを解除する時は数字の3、効果の確認をする時は数字の4をダイヤルしてください。」とガイダンスが流れます。
③ガイダンスに従って9をダイヤルしてください。
④「現在、登録されている電話番号を全て解除しました。」というガイダンスが流れたら受話器をおかけください。
⑤これで解除操作は完了です。

※この操作を行う場合は登録されている電話番号の全てが解除されますのでご注意ください。
※解除完了のガイダンスは、必ず確認してください。
※いつでも解除できます。

※144と2・3・4・9のいずれかをつづけてダイヤルすると通常144をダイヤルしたあとに流れるガイダンスを省略することができます。
（注）ダイヤル回線をご利用の場合は、ガイダンスに基づいて操作してください。
※INSネットをご契約の方に、ご利用いただく場合は144をダイヤルした後のガイダンスが流れませんので、144につづけて2・3・4・9のいずれかをダイヤルしてください。

3 最新登録電話番号解除方法
（最も新しい登録電話番号を解除します。）

①

②ガイダンス

③

④ガイダンス

⑤（解除完了）

①受話器をあげて、[1][4][4]をダイヤルしてください。
②「現在、登録されている電話番号は○個です。拒否登録する時は数字の[2]、登録されている電話番号をすべて解除する時は数字の[9]、最も新しい登録だけを解除する時は数字の[3]、効果の確認をする時は数字の[4]をダイヤルしてください。」というガイダンスが流れます。
③ガイダンスに従って[3]をダイヤルしてください。
④「最も新しい登録の電話番号を解除しました。現在、登録されている電話番号は○個です。」というガイダンスが流れたら受話器をおかけください。
⑤これで解除操作は完了です。

※同じ操作を繰り返すことにより、新しい登録電話番号から順番に1つずつ解除することができます。
※解除完了のガイダンスは、必ず確認してください。
※いつでも解除できます。

4 効果確認方法
（今月分と前月分の登録電話番号でのメッセージ応答回数をお知らせします。）

①

②ガイダンス

③

④ガイダンス

⑤（確認完了）

①受話器をあげて、[1][4][4]をダイヤルしてください。
②「現在、登録されている電話番号は○個です。拒否登録する時は数字の[2]、登録されている電話番号をすべて解除する時は数字の[9]、最も新しい登録だけを解除する時は数字の[3]、効果の確認をする時は数字の[4]をダイヤルしてください。」というガイダンスが流れます。
③ガイダンスに従って[4]をダイヤルしてください。
④「今月、メッセージ応答した回数は△△回（以上）です。前月、メッセージ応答した回数は△△回（以上）です。」というガイダンスが流れたら受話器をおかけください。
⑤これで効果の確認は完了です。

※回数が99回までは“△△回”、100回以上の場合は“100回以上”とガイダンスします。
※今月とは「当月1日から効果確認をした時点まで」、前月とは「前月1日から末日まで」の期間をさします。
※いつでも確認できます。

※操作の途中で「お客さまがおかけになった電話番号は現在使われておりません。番号をお確かめになって、もう一度おかけなおしください。」というガイダンスが流れたら、受話器をおいて、もう一度①からの操作を行ってください。
※メンバーズネットをご利用の場合、先に「0」をダイヤルしてから登録・解除操作を行ってください。
※ピンク電話（カード式を含む）をご利用の場合、鍵（KS鍵）操作を行うか、硬貨またはテレホンカードを投入し、発信音を確認してから登録等の操作を行ってください。

5 ガイダンスの内容
（操作中には次のガイダンスが流れます。）

項目		ガイダンス	案内回数
[1][4][4] ダイヤル後		現在、登録されている電話番号は○個です。拒否登録する時は数字の[2]、登録されている電話番号をすべて解除する時は数字の[9]、最も新しい登録だけを解除する時は数字の[3]、効果の確認をする時は数字の[4]をダイヤルしてください。	2回
登録時	登録完了確認	登録を完了しました。現在、登録されている電話番号は○個です。	
	登録できない時	相手の電話番号を確認できないので登録できません。	
	登録限度数を超えて更に登録操作を行った場合	限度数を超えましたので、最も古い登録を取り消し、ただいまの電話番号を登録しました。	
解除時	一括解除確認	現在、登録されている電話番号を、全て解除しました。	
	最新登録電話番号解除確認	最も新しい登録の電話番号を解除しました。現在、登録されている電話番号は○個です。	
効果確認		今月、メッセージ応答した回数は△△回（以上）です。前月、メッセー応答した回数は△△回 以上）です。	

（注）○個：現在の登録個数
△△回（以上）：登録電話番号でのメッセージ応答回数

● 繰り返し同じ電話番号を拒否登録した時には
＜直前の操作により登録した電話番号を、次の電話が着信（通話が成立した状態）する前に、再度、登録しようとした場合など＞

この電話番号は既に登録されています。

というガイダンスがお客さまに流れます。（2回繰り返したあとに切れます。）

● 登録した相手が電話をかけてきた時には、相手側に次のメッセージが流れます。（2回繰り返したあとに切れます。）

こちらは△△－△△△△の△△△△です。この電話はお受けできません。ご了承ください。

（注）△△－△△△△の△△△△…お客さまの電話番号

※この時、お客さまの電話のベルは鳴りません。
また、お客さまの電話の発信や着信は通常どおり可能です。

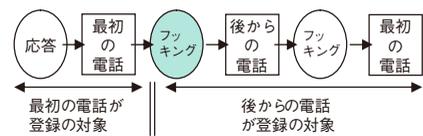
6 留意事項

ご利用時の留意事項

※相手側の交換機の種類等によっては、登録できない場合があります。
※登録した相手の電話番号はわかりません。

■ネットワークサービスとの関連での留意事項

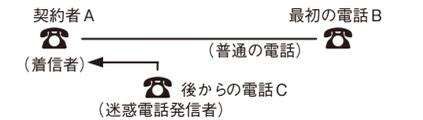
【キャッチホンをご契約の方】

※登録対象となる電話を間違えないよう下記の事項にご注意願います。
※お話し中にあとからかかってきた電話に応答した場合は、それ以降、**切り替えた電話が登録の対象となります。**

<留意事項>
あとからかかってきた電話とお話しが済んで、最初の電話の方とお話ししても、登録の対象となる電話はあとからかかってきた電話となりますのでご注意ください。

〔迷惑電話に応対中に、他から電話がかかってきた場合〕

※A（契約者）がB（迷惑電話発信者）からの電話応対中にキャッチホンの信号音が入った場合、キャッチホンの切り替え操作をせずに電話を切り、呼び出し音が鳴らなくなってから、登録操作を行ってください。

<留意事項>
尚、キャッチホンで切り替えてしまうと、切り替えたCの電話が登録の対象となってしまいますので、ご注意ください。

〔お話し中に他からかかってきた電話に応答したところ、それが迷惑電話だった場合〕

※A（契約者）がB（普通の電話）とお話し中にキャッチホンで切り替えた電話がC（迷惑電話発信者）からの電話であった場合、最初の方とのお話しが済んだあとに、一旦受話器をおろして登録操作を行ってください。

【代表機能をご利用の方】

●登録しておくことができる電話番号の数は、代表機能を利用しているすべての回線全体で6個または30個となります。
●登録操作は迷惑電話が着信した回線から行ってください。着信した回線以外の回線で登録操作を行いますと、**別の電話番号が登録される**ことになります。

〔迷惑電話を受けた場合、必ずどの回線にかかってきたのかを確認してから受話器をおろしてください。そして、同じ回線から登録操作を行ってください。〕

●迷惑電話が代表機能を利用しているどの回線に着信しても、メッセージで応答します。その際、メッセージの中で案内される電話番号はどの回線に着信したかにかかわらず、発信者がダイヤルした番号となります。
●解除は、代表機能を利用しているどの回線（着信用電話を除く）からでも操作ができます。
●代表機能へ異なる名義の方の子番号を追加する場合、追加する方及び既に代表機能を利用している方全員の同意書が必要となります。

【#ダイヤルをご契約の方】

［登録した相手が電話をかけてきた場合］
●登録した相手へ応答するメッセージの中の電話番号は#ダイヤル番号ではなく、#ダイヤル契約をしている**通常の電話番号となります。**

【第２種パケット交換サービスをご契約の方】

●第２種パケット通信網を利用して着信した通話を登録すると、それ以降全ての第２種パケット通信網を利用した着信がメッセージ応答となり、受けられなくなります。

■端末機器との関係での留意事項

【ファクシミリ端末をご利用の方】

●Fネット(ファクシミリ通信網サービス)を利用して発信してきたファクシミリ着信を登録するとそれ以降のFネットを利用した全ての着信が受けられなくなります。

【ビジネスホン・PBXをご利用の方】

●本サービスは、「1 4 4」に続けて 2 3 4 9 をダイヤルすることによる「信号」を交換機が受け、登録・解除等を行っています。
ビジネスホン・PBXによっては、装置の設定等により登録操作及び解除操作時等に 2 3 4 9 をダイヤルしてもダイヤル信号が送出されないことがあります。このような場合には、ご利用機種の取扱説明書の「通話中（PB）信号送出方法」でご確認いただくか、ご利用機種の相談窓口等へお問い合わせください。

【市販の「転送電話装置」の転送先になっている方】

●**転送されてきた通話を一旦登録すると、それ以降その「転送電話装置」から転送されてきた全ての通話が受けられなくなります。**
また、相手に応答するメッセージの電話番号は、相手がダイヤルした電話番号でなく、転送先（お客さま）の電話番号となります。

------------（切り取ってご利用ください）------------

操作早見表

迷惑電話がかかってきたら	一旦電話をきり、受話器をあげて「1442」で登録
最後に登録した番号の解除は	受話器をあげて「1443」
登録した番号の一括解除は	受話器をあげて「1449」